

平成 28 年第 4 回定例会一般質問

平成 28 年 12 月 14 日・15 日・16 日

(13枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	鶴田 公紀議員	1 政治姿勢について	(1) 合併特例債の申請期間は。 (2) 庁舎建設予定及び積立金総額は。 (3) 建設予定地は。 (4) 今後のスケジュールについて (5) 木ノ氏バイパスの開通式が1月28日に実施される。木ノ氏バイパス～里町～井手原～西本町の計画図（青写真）はあるが、今後のバイパス計画の要請の考えは。	市長	
		2 道路、橋等インフラの再構築や空き家対策について	(1) 老朽化した個所を年次的に改善策や空き家対策を検討すべきと思うが市長の見解を伺う。	市長	
		3 高齢者対策について	(1) 国勢調査で高齢化率が39%であるが高齢者対策の検討は。	市長	

平成 28 年第 4 回定例会一般質問

平成 28 年 12 月 14 日・15 日・16 日

(13枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	森田 幸一議員	1 街路灯及び防犯灯の整備について	<p>(1) 街路灯及び防犯灯が少ないと思われる道路は、子ども達が通行するには防犯上危険であり、不審者等出没し問題があると思うが、市としてはどのように把握し対応しているのか。また今後どのように対応するのか伺いたい。</p> <p>(2) 自治会との間が途切れている道路に街路灯、防犯灯がない所がある。中学生徒が部活動後はこの暗い夜道を帰宅している通学路がある。街路灯及び防犯灯の整備ができれば、防犯などの危険を事前に回避、抑制できると思うが見解を伺う。</p> <p>ア 市道菱刈前目徳辺線の菱刈前目中自治会からバイパス国道 268 号線に接する間</p> <p>イ 国道 268 号線の菱刈本町集落から菱刈重留南集落へ通じる間</p> <p>ウ 市道菱刈重留線沿の菱刈麓後集落からバイパス国道 268 号線に接する間</p>	市長 教育長	
		2 農林業行政について	<p>(1) 市有林の分収林・直営林の種類別、年数つまり樹齢別とその面積を、また、伐採時期が到来していると思われる種類別と面積及び現時点での評価額を伺いたい。</p> <p>(2) 本市の森林整備計画は、平成 27 年 4 月からの 10 年計画であるが、いつの時期にどのような用途で伐採され、また植え付け等の管理はどのようにする計画なのか伺いたい。</p>	市長	

平成 28 年第 4 回定例会一般質問

平成 28 年 12 月 14 日・15 日・16 日

(13枚のうち3枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	植松尚志郎議員	1 伊佐市の人口減少について	(1) 市外から伊佐市に移住する場合は、木造住宅整備促進事業補助金で最高 20 万円を助成することや、若い男女の出会いの場として「いさえん」が行われている。現在、非常に人口減少が続いているがその対策は。	市長	

平成 28 年第 4 回定例会一般質問

平成 28 年 12 月 14 日・15 日・16 日

(13枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	柿木原榮一議員	<p>1 市道、農道のインフラ整備について</p> <p>2 伊佐市の教育力向上、学力向上の考え方、伸ばす方法は。</p>	<p>(1) 以前、質問をした市道元町～下元町線のコンクリート製の道路の張り替え舗装は検討したのか。市道下元町線国道 268 号線からハローワーク前を通り約 100 メートルの道路幅が狭く、大口小学校への通学道路の歩道もなく、下水路の蓋も無い状態であり危険性が高いが、どのように思われ整備の考えはないか。</p> <p>(2) 12 月 4 日に関係自治会で園田～鳥巣上市道の草払い共同作業が行われたが、道路の両脇は砂が溜まり、道路の道幅も狭くなっている。オーバーレイ整備等の可能性はないのか。体育センターの上北側のまっすぐ農道の傷みも凄い。大型のトラック、車通行があり、10 キロロードレース等のコースでもあるが、整備はできないか。</p> <p>(3) 過去、複数の議員が質問をした市営住宅西水流団地からオテキ兄木工所までの農道の整備について自治会長から申請が出され、伊佐市むらづくり整備事業補助金で新しい段階に入っているが内容について伺いたい。</p> <p>(1) 9 月 30 日の南日本新聞で 2016 年度全国学力・学習調査「全国学力テスト」の結果が報道された。鹿県中学全教科平均割れが目飛び込んだが、伊佐市の状況と県の教育委員会からの指導はなかったのか。</p> <p>(2) 地域の教育力向上を行政からの考えでどのように感じているのか。</p> <p>(3) 保護者への教育力向上のお願いはどうしているのか。</p> <p>(4) 57 の国と地域が参加した 2015 年度の国際数学・理科教育動向調査 (T I M S S) で、日本の小学 4 年と中学 2 年のいずれも過去最高になったと、朝日新聞 11 月 30 日の報道があったが、市長は、国際的教育力向上、学力向上をどう考えているか。</p> <p>(5) 読解力も指摘されているが、新聞の活用は学校でどのようにしているのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長</p>	

平成 28 年第 4 回定例会一般質問

平成 28 年 12 月 14 日・15 日・16 日

(13枚のうち5枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	谷山 大介議員	1 子育て支援について	(1) 子ども医療費について (2) 給食費無料化について (3) 小・中学校の教室における冷暖房について	市長 教育長 教育長	

平成 28 年第 4 回定例会一般質問

平成 28 年 12 月 14 日・15 日・16 日

(13枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	井上 文雄議員	<p>1 大災害に伴う危機管理監の創設について</p> <p>2 道の駅創設について</p>	<p>(1) 豪雨災害・土砂災害・地震災害について 本市においての、災害時の対応について専門性を有する外部人材の採用について伺う。</p> <p>(2) 有利性及び合理性について 採用時における地方公共団体への特別地方交付税の対象</p> <p>(1) 第三者委員会の立ち上げ コンサルタント会社への依頼について伺う。</p> <p>(2) 地産地消について 市民の皆さんの思いに対する市長の考えを伺う。 農家の皆さんのやりがいと収入源について</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 28 年第 4 回定例会一般質問

平成 28 年 12 月 14 日・15 日・16 日

(13枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	山下 和義議員	1 ファミリーサポートに対する取組について	<p>今、全国の市町村がファミリーサポートをいろいろな角度から取組をしてきております。伊佐市も伊佐市シルバー人材センターが「ふるさとを守るおたすけ事業」の中でふるさとの暮らしを守りたい、高齢者が安心して生きがいを持てる暮らしをということで日常生活支援事業を実施しております。ただ、育児に対するサポート体制は十分ではないと思う。そこで、次のことについて市長の見解を伺いたい。</p> <p>(1) 生活していくために働かなければならない。しかしながら、子どもがいることで働けない環境にいる方がいると思う。子ども・子育て支援法の地域子ども・子育て支援事業 13 事業の中に子育て援助活動支援事業が位置付けられている。伊佐市としてこの事業に取り組んでいただきたいと思うがどうか。</p> <p>(2) 今伊佐市の高齢者の状況は 65 歳以上の人口が 10533 人で高齢化率が約 39%である。また、要介護認定者は 1748 人となっているようである。そのような中で社協の見守り事業やシルバーの日常お助け事業等を活用され、高齢者が日常生活が送れる体制作りが出来つつある。このような事業をもっと充実させることが高齢者が自宅で安心して生活していけることになると思う。時間的な部分も出てくると思うがもっと充実させることができないか伺う。</p> <p>(3) 介護保険の第 2 号被保険者で介護保険のサービスを受けられる人は、16 の特定疾病以外は認定されない。いくらそれと同等以上であっても介護保険のサービスは受けられない。それ以外の方は障がい者支援の障害福祉サービスを受けるしかない。そういう方々が自宅で暮らしていけるようなサービスの充実が望まれていると思う。そういう方々にファミリーサポート事業等を導入できないか。</p>	市長	

平成 28 年第 4 回定例会一般質問

平成 28 年 12 月 14 日・15 日・16 日

(13枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	山下 和義議員	2 伊佐市の今後 4 年間の方向性と活性化について	<p>伊佐市は、平成 27 年度に伊佐市人口ビジョン、伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略を作成し、今後の進むべき道を示している。また、市内の各高校に独自の支援を実施している。それはひとえに児童生徒が 18 歳までできるだけ市内で生活する環境を作り、将来的に伊佐で育ったことに感謝できる人としての育成であるのではないかと私は思っている。</p> <p>そこで、次のことについて市長・教育長の見解を伺いたい。</p> <p>(1) 私は 3 年前の平成 25 年第 4 回定例会で大口中央中にラグビー部ができないか教育長に質問した。その時の教育長の答弁は、学校経営は校長にある。と答弁された。確かにそのとおりであると理解はしている。ただ、伊佐市の方針が校長先生はじめ先生方に浸透しているか非常に疑問を持っている。本当に理解しているのだろうか？この前、小学生の孫を持っている市民の方が、孫が今小学校で男子バレーボールをしている。そこで、大口中央中に男子バレー部を作っていただけないか聞いたら校長先生の返事は一言、顧問がいないからできないということであったと聞いた。私はそのことを聞いた時、残念さと同時に憤りを感じた。中学校でバレーをやりたい小学生がいるのに、そういう生徒はバレー部がある他の中学校に行けばいいというような態度である。本当にそれでいいのか。市内の高校を活性化していくために、市内の中学校に進む生徒をできるだけ確保する必要があるのではないのか。</p> <p>できない理由は本当のところどういうことなのか。外部のコーチ等で対応できるのではないのか。できるようにするために市としてどういう協力をすればできるのか。</p> <p>また、ラグビー部も作っていただきたい。それらの生徒ができるだけ市内の高校に進む方向を模索していただきたい。教育長の見解を伺う。</p>	市長 教育長	

平成 28 年第 4 回定例会一般質問

平成 28 年 12 月 14 日・15 日・16 日

(13枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	山下 和義議員	2 伊佐市の今後 4 年間の方向性と活性化について	<p>(2) 伊佐市は大口高校の活性化策として大学奨励金事業等を実施している。そのことに私は賛成している。ただ、伊佐農林高校にもこの大学奨励金事業を導入するべきではないかと思う。また、伊佐農林高校から農業大学校に行く生徒は大半が伊佐市に帰ってくる。農業大学校に行く生徒に大学奨励金事業の半額でも出していただきたいと思う。市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 今後の 4 年間は伊佐市にとって非常に大事な時期である。それを市長は選挙で市民に訴え当選した。今後の市長の方向性について伺いたい。 また、特別支援学校の誘致もできるだけ早い時期に県の理解を得ていただき作っていただくような方向が出るように努力してもらいたい。市長の見解を伺う。</p>	市長 教育長	

平成 28 年第 4 回定例会一般質問

平成 28 年 12 月 14 日・15 日・16 日

(13枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	沖田 義一議員	<p>1 関白陣の再調査について</p> <p>2 第2子以降の保育所、幼稚園の負担について</p>	<p>この件については、平成 26 年 3 月議会に於いて質問していますが、再度質問をします。</p> <p>(1) 豊臣秀吉が関白陣付近に野営をしたことは間違いないとされている。また、そのことが確認されたら国宝級との指摘もある。このことについて伺いたい。</p> <p>(2) 前回調査以外の可能性がある場所(第2岡)があるとの指摘が以前からある。ここの調査が必要だと考える。このことについて伺いたい。</p> <p>(1) 伊佐市では、第3子以降は保育所、幼稚園の委託料を市が負担し保護者の負担0を図り出生率の向上、人口増に寄与していると考えているがこのことについて伺いたい。</p> <p>(2) 対象を第2子についても検討する必要があるのではないかと伺いたい。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長</p>	

平成 28 年第 4 回定例会一般質問

平成 28 年 12 月 14 日・15 日・16 日

(13枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	福本千枝子議員	1 伊佐市の将来像をどのように描くか。	<p>合併し3期目の首長として、今ある多くの課題をどのように捉え、解決していくのか手腕が問われる。市民が安心して生活できる「伊佐市のまちづくり」の構築を公約の中から伺いたい。</p> <p>(1) 一人ひとりが元気に、未来へ協力し合うまちづくりとは。</p> <p>(2) 地域の助け合いによるコミュニティ育成で豊かな環境づくりとは。</p> <p>(3) 夢のある積極的な農林業を支援するとあるが、具体的な支援策は。</p> <p>(4) 地元雇用・新規ビジネス・商業の支援・観光交流・地方創生を促進するとあるが、雇用や新規ビジネスとは。</p> <p>(5) 特別支援学校の誘致、幼・小・中・高校連携による魅力ある教育とは。</p> <p>(6) 文化・スポーツの振興と地域に役立つ学びと人材育成を更に進める施策とは。</p> <p>また、公共施設の老朽化により、本年度中に市庁舎を含む公共施設の統合管理計画を策定し、2017年度からあり方検討に入る。市庁舎建設については来年が決断の年となり、合併推進債期限に間に合わせたいとのことである。いつ決断したのか。</p>	市長	
		2 地域おこし協力隊の活用について	<p>この件については3回目の質問となる。まちづくりの起爆剤になれば常に考える。その後検討したのか伺う。</p>	市長	

平成 28 年第 4 回定例会一般質問

平成 28 年 12 月 14 日・15 日・16 日

(13枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	前田 和文議員	<p>1 市道管理の全庁的取組を求めたい。</p> <p>2 家畜、家禽類の防疫体制の再点検が必要ではないか。</p>	<p>(1) 市道管理上、隣接する土地又は山林所有者との協議が生じたとき、不在地権者、不在山林所有者との交渉の取組は確立されているのか。</p> <p>(2) 前号が、構築されておらず市民の安全な交通手段が担保できないとすると、道路管理者として責任を問われることにならないか。</p> <p>(3) 不在地権者等だけではなく、地権者が道路管理者との交渉に応じない事案が発生した場合は、適切な対策はあるのか。</p> <p>(1) 今期また出水に渡来した渡り鳥等で、鳥インフルエンザ感染が確認されている。本市の農場の防疫体制は確認できているのか。</p> <p>(2) 家禽類だけではなく、牛、豚の様々な感染症にも日常的な防疫が必要である。それに対する啓発活動・チェックする行政的指導は、体制化されているのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 28 年第 4 回定例会一般質問

平成 28 年 12 月 14 日・15 日・16 日

(13枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	畑中 香子議員	1 市長の政治姿勢について	(1) 市長選挙の結果をどのように受けとめているのか。 (2) 所信表明を行うべきではないか。 (3) 選挙後の新聞報道の中で、道路の問題について述べていたが、今後生活道路や市道の整備をどのように進めるのか。	市長	
		2 国保について	(1) 国保世帯の国保税負担が厳しさを増している。国保の値下げを検討せよ。	市長	
		3 子ども医療費について	(1) 子ども医療の水準の低さが問題になっている。拡充を検討せよ。	市長	
		4 水俣病問題について	(1) 水俣病患者が多数おられることが判明しているが、県の地域よる線引きや証拠提出の理不尽さなどについて認識し、県に対して改善を強く要望すべきではないか。 (2) 未診断の方や未認定の方々に対して支援を行うべきではないか。	市長	
		5 選挙のあり方について	(1) 病院等での不在者投票の外部立会人を置くべきではないか。	選挙管理委員会委員長	